

「何が秘密？それは秘密」特定秘密保護法案に反対しよう！

今でも秘密だらけの原発情報 秘密保護法で秘密は一層拡大 SPEEDIの情報も秘密！？ 事故時の避難ルートも秘密！？ 安全性に関する情報も秘密！？

11月7日、特定秘密保護法案の審議が衆院で始まり、政府は今月中にも法案を成立させようとしています。秘密保護法は、「防衛」「外交」「特定有害活動防止」「テロ活動防止」の4分野で「特定秘密」を決め、それを漏らしたり、聞き出そうとした人に最高10年の懲役を科すというものです。

しかも、何が「秘密」に指定されているのか自体が秘密です。政府に情報開示を求める市民の活動も処罰の対象となる可能性があり、突然の逮捕や家宅捜索などの危険が高まります。政府を批判したり、情報公開を求める市民の活動を萎縮させる、とんでもない悪法です。法案に反対しましょう。

今でも秘密だらけの原子力

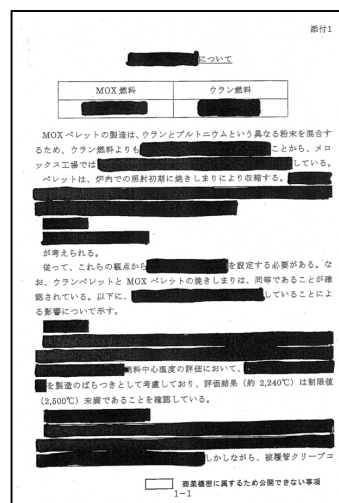
今でも、原子力に関する情報は多くが秘密扱いとされています。

- MOX燃料やウラン燃料の輸送ルート等は今も秘密
- 安全性を確認するための情報も大部分が秘密で黒塗りです。
- 3.11事故では、SPEEDIも隠されていました

米軍には伝えても、「混乱を招く」と住民には知らせず。

その結果、多くの人々が避けられたはずの被ばくを強要されました。

福島県議会は、SPEEDIが公開されず、住民がよけいな被ばくを強いられた事実を踏まえ、10月9日、「原発の安全性に関わる問題や住民の安全に関する情報が『特定秘密』に指定される可能性がある」とし、同法の再考を求める意見書を全会一致で採択しています。



「玄海3号及び伊方3号 MOX燃料について」
(原子力安全・保安院 2009年8月)

秘密保護法が成立すれば、さらに秘密は拡大。情報公開を求めれば逮捕！？

秘密保護法が成立すれば、住民の安全に関わる重要な情報は一層秘密扱いとなります。政府は原発事故の情報は秘密の対象ではないと言っていますが、「警察が行う原発の警備は秘密」としています。

「原発の警備」と「テロ対策」を口実に、様々な情報を秘密にすることが可能となります。

- ◆ 事故時の放射能放出量や被ばく情報は秘密？
- ◆ 汚染水漏えいでは、漏えい量やタンクの欠陥等、安全性を検証する情報も秘密？
- ◆ 原子力防災計画では、避難ルート等も秘密？
- ◆ 再稼働審査での耐震安全性や津波対策、シビアアクシデント対策の重要な情報は秘密？

そして市民が情報公開を求めたり、呼びかけたりすれば、それだけで逮捕や家宅捜索も可能になってしまう危険があるのです。市民の知る権利をなきものにしようとしています。

反対の声が強まっています。市民の声で廃案に追い込みましょう。

○ 地元選出の国会議員に反対の声を届けよう
○ 安倍首相に反対の声を届けよう 首相官邸 FAX 03-3581-3883
メール https://www.kantei.go.jp/jp/forms/goiken_ssl.html